

Hospitality Forum 2024

日本ホスピタリティ・マネジメント学会

日時：2024年3月2日(土)14:00～16:00

場所：中央大学大学院戦略経営研究科

駿河台キャンパス 8階 (中教室A8-2 803)

<https://www.chuo-u.ac.jp/access/surugadai/>

参加費：**無料**

どなたでも
参加可能です

どうなる観光？どうなる日本？ 今求められるホスピタリティ・マネジメントの役割と課題とは

本フォーラムでは、どうなる観光？どうなる日本？をテーマに、観光・ホスピタリティ関連の有識者から、各々の専門分野から10分間のショートスピーチをして頂き、共通する課題を抽出した上で、プレゼンターと参加者が一体となるフリーディスカッションを実施します。その上で、今求められるホスピタリティ・マネジメントの役割と課題についての洞察を深めることを目的とします。

【第1部】問題提起（プレゼンテーション）各10分間

（プレゼンター）

- | | |
|----------|----------------------|
| ① 崎本 武志 | 江戸川大学社会学部 教授 |
| ② 笠原 伸一郎 | 専修大学経営学部 名誉教授 |
| ③ 波積 真理 | 熊本学園大学商学部 教授 |
| ④ 五十嵐 元一 | 桜美林大学ビジネスマネジメント学群 教授 |
| ⑤ 崔 載弦 | 東海大学観光学部 准教授 |

休憩 10分間

【第2部】フリーディスカッション 約60分間

ファシリテーター：藤井享（北見工業大学工学部 教授）

※終了後、有志にて懇親会・会費5千円（当日徴収）を実施します。

申込み・問い合わせ先：【締切日 2月29日（木）20時】

申込みは右記QRコードまたはURLにアクセス

URL：<https://docs.google.com/forms/d/1FhifLk0l8grBGPzxTHMzaA9cLnnIBsvSnEy3ImXGb7c/edit>

又は以下担当者へ直接メールにてお願いします。

北見工業大学大学院戦略的協創イノベーション研究室・村中海斗宛

TEL：080-8211-8328

E-mail：kaito1212567@gmail.com



主催：日本ホスピタリティ・マネジメント学会

どうなる観光？どうなる日本？ 今求められるホスピタリティ・マネジメントの役割と課題とは

◎プレゼンター紹介と内容◎

① 崎本 武志 江戸川大学社会学部 教授

◎ホスピタリティ面からみる日本の観光の将来展望

【内容】 コロナ禍を経て、日本の観光は岐路に立っています。中でも、観光インフラに影響が出ている人手不足は深刻な問題です。日本のホスピタリティや「おもてなし」を、抜本的に見直していく必要に迫られています。これらの点を中心に、ホスピタリティ面から日本の観光における将来について、検討してまいります。

② 笠原 伸一郎 専修大学経営学部 名誉教授

◎訪日観光客2000万人越え、オーバーツーリズムへの懸念と課題」(仮題)

【内容】 訪日観光客が4年ぶりに2000万人を越え、産業の活性化に寄与する反面、一部で、オーバーツーリズムへの懸念も生じつつある。こうした日本の観光業の新たな問題に対して、この現象をどう生かすべきかについて、好調な理由の背景と今後の課題を多角的に論じる。

③ 波積 真理 熊本学園大学商学部 教授

◎くまモンのブランド戦略と観光

【内容】 くまモンのこれまでのブランド化の歩みを振り返り、くまモンが国内外の観光振興にいかにかされているかを考える。

④ 五十嵐 元一 桜美林大学ビジネスマネジメント学群 教授

◎立ち上がれ、観光・ホスピタリティビジネス！受け入れ側の課題

【内容】 コロナ禍が収束に向かう中、インバウンドも回復して旅行需要が盛り上がって来ている一方で、受け入れ側では人手不足に陥っています。ホスピタリティ・マネジメントを通じた働き方について、課題を提起したいと思います。

⑤ 崔 載弦 東海大学観光学部 准教授

◎どうなる日本の観光サービス？

【内容】 今日、人手不足を解消するため、政府は外国人労働者の積極的な活用を進めている。観光サービス分野もその例外ではなく、ホテルや旅館などの宿泊業を中心に、多くの外国人が働いている。筆者の概算では、宿泊業全体の従事者の10%近くを外国人労働者が占めており、今後さらに増加することが予想される。このような状況の中、「日本型サービス」の維持と人的サービスの高付加価値化を図るために何が必要かを考えていきたい。